

## 口述発表1

### 市区町村別平均寿命の全国順位の変化からみた 長野県、沖縄県、青森県の平均寿命の解析

竹森 幸一<sup>1)</sup> 三上 聖治<sup>2)</sup>  
工藤奈織美<sup>1)</sup> 浅田 豊<sup>1)</sup>

1) 青森県立保健大学健康科学部

2) 弘前学院大学看護学部

Key Words : ①平均寿命の順位 ②市区町村別平均寿命  
③平均寿命の伸び

#### I. はじめに

2000年に厚生労働省が発表した市区町村別生命表は青森県に大きな衝撃を与えた。市区町村別平均寿命の全国マップにおいて、青森県、男とくに津軽地方の男が短命で、長野県、男と沖縄県、女は長寿であることが明確に示された。

#### II. 目的

平均寿命の年次推移に特徴がある長野県、沖縄県、青森県について、市区町村別平均寿命の全国順位の変化から、3県の平均寿命の特徴を明らかにすることを目的とした。

#### III. 研究方法

資料として(財)厚生統計協会編集・発行の1985年、1990年、1995年市区町村別生命表の中の市区町村別平均寿命<sup>1)</sup>および厚生労働省大臣官房統計情報部の平成12年(2000年)市区町村別生命表の概況に示された市区町村別平均寿命<sup>2)</sup>を用いた。各年の全国市区町村の平均寿命について、平均寿命の長いものから1、2、…というよ

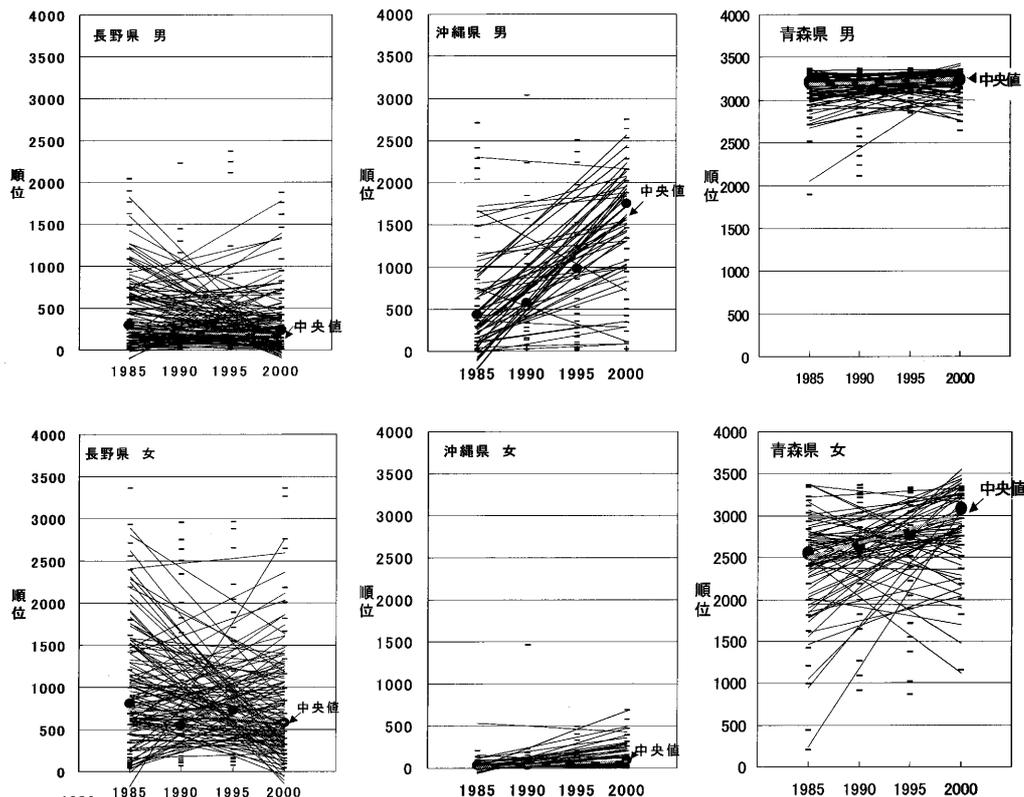


図1 長野県、沖縄県、青森県市町村の平均寿命全国順位の変化（男女別、1985年から2000年）

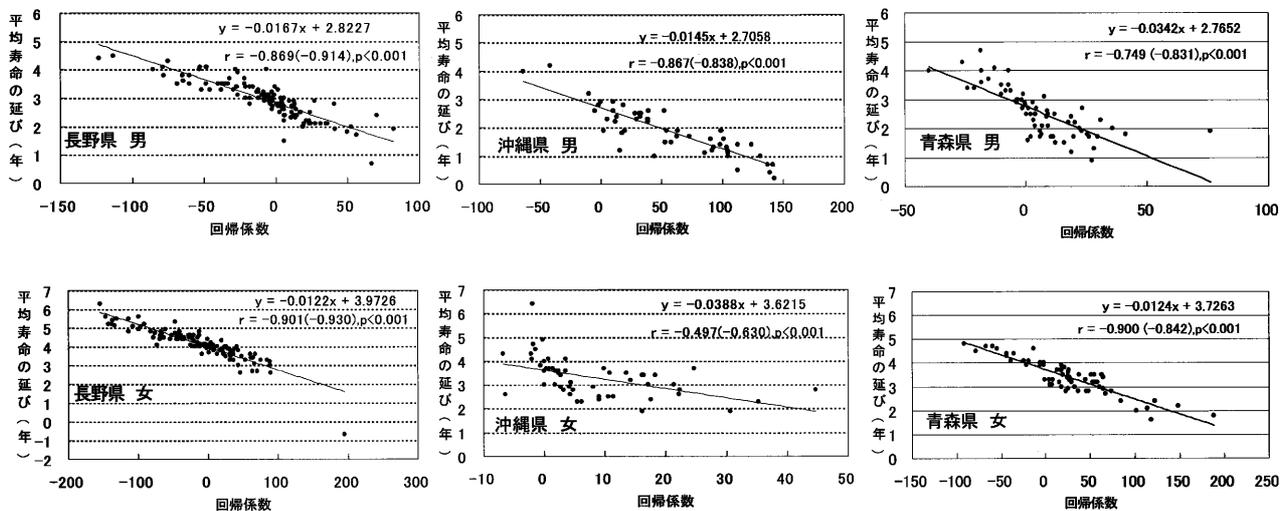


図2 長野県、沖縄県、青森県市町村の平均寿命全国順位の回帰係数（1985年から2000年）と同期間の市町村別平均寿命の延び（年）との関連相関係数はPearsonとSpearman（括弧内）

うに順位を付けた。長野県、沖縄県、青森県それぞれの各市町村の平均寿命全国順位について、1985年から2000年までの回帰係数を計算し、回帰直線を図示した。回帰係数と1985年から2000年までの市町村別平均寿命の延び（年）との相関係数（PearsonとSpearman）と回帰式を求めた。

#### IV. 結果と考察

図1に長野県、沖縄県、青森県各市町村について、男女別1985年から2000年までの平均寿命全国順位の回帰直線を示した。長野県・男は順位がよい方に移行した市町村が多く、県全体の順位中央値は1985年の299から2000年の234と改善し、女は男同様に順位がよい方に移行した市町村が多く、県全体の順位中央値では1985年の808から

2000年の578と改善した。沖縄県・男は順位が悪い方へ移行した市町村が多く、県全体の順位中央値では1985年の436から2000年の1753と悪化し、女は男同様に順位が悪い方へ移行した市町村が多く、県全体の順位中央値では1985年の29から2000年の91と悪化した。青森県・男は2700位から3360位の間に停滞していた。女は順位が悪い方へ移行した市町村が多く、県全体の順位中央値では1985年の2553から2000年の3084と悪化した。

図2に長野県、沖縄県、青森県男女について、1985年から2000年までの市区町村別平均寿命全国順位の回帰係数と同期間の市区町村別平均寿命の伸び（年）の散布図、回帰式、相関係数を示した。長野県、沖縄県、青森県の回帰式における切片、男それぞれ2.8227、2.7058、2.7652と女それぞれ3.9726、3.6215、3.7263は、1985年から2000年までの全国男女の平均寿命の伸び（年）それぞれ2.76、3.87に近い値であった。全国平均寿命の伸びより伸びが大きい市町村では回帰係数が負で、逆に伸びが小さい市町村の回帰係数は正であった。

## V. 文献

- 1) 厚生統計協会編. 1985、1990、1995年市区町村別生命表. 東京：厚生統計協会, 1989、1993、1998.
- 2) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts00/6.html>